



問題行動を防ぐために

校長 古谷 勉

今年度も「教師の日」にあわせて、教職員に向け多数のメッセージをいただきました。誠にありがとうございました。これを励みに、教職員力を合わせ、子どもたちのために更に力を尽くしていきたいと思います。

芸能人の違法薬物所持が相次ぎ、ドラマで活躍していた俳優が逮捕される様子が、ニュースなどでしばしば取り上げられます。本人の責任とは言え残念でなりません。

10歳代の薬物乱用・依存が急増しているとの結果が、国立精神・精神医療研究センターの調べでわかりました。最近2年間で3倍近くに達するそうです。取り締りを強化したこともあり、危険ドラッグのような違法薬物の使用は減少していますが、咳止めや風邪薬などの市販薬を大量に摂取するケースが増加しています。いわゆるオーバードーズです。先日オーバードーズが原因と見られる10代女性の転落死がありました。市販薬を入口に違法薬物の摂取につながるケースもあると聞きます。一度違法薬物に手を出すと、取り返しのがたないことになります。絶対に防がなくてはなりません。

高学年になると保健や薬物乱用防止教室などで、薬物の危険性を学習します。薬物の恐ろしさを認識させることで、様々な誘惑から身を守る力を付けさせようと考えています。しかし、それ以上に大切なことは、そもそも薬物に頼るような状況に、子どもたちを追い込まないことです。

学校では指導者と子どもとの信頼関係を第一と考え、その構築に努めています。性格も考え方も異なる30人近くの子供たちと関係を築くのは容易ではありませんが、全ての指導の根幹になるため、日々模索しています。先日受けた研修では、2人組で話をしているとき、相手が聴いていない素振りであるのと、関心をもって聴いているのとでは、話し手の気持ちが大きく異なることを、ロールプレイを通して学びました。また、子どもの話の聴き方として、「先に聴く」「相手が話したいときに聴く」「最後まで聴く」「難しい時は、具体的な先の約束をする」ことを心がけるとよいとのことでした。

話の聴き方ひとつで、子どもは自分が受け入れられているか否か感じ取るものです。日々の忙しさについて忘れてしまいがちな子どもとのかかわりを、ご家庭でもときどき振り返っていただき、ともに、子どもたちが健やかに育つよう考えていきましょう。

1・2年 生活科 校外学習

1年担任

2年担任

爽やかな天気恵まれ、1・2年合同で戸山公園へ遠足に行ってきました。箱根山にも登りました。2年生は5月の学校探検の時よりもずっとたくましくなり、1年生をリードする姿がとても頼もしく見えました。1年生はどんぐりやまつぼっくり、赤や黄色に染まった葉を見付け、秋の訪れを肌で感じる事ができました。地域の豊かな自然に触れることができる貴重な経験となりました。

河口湖移動教室（6年）

6年担任

豊かな自然の中、様々なことを見て聞いて、感じ学んだ3日間でした。

森林体験、樹海のハイキング、古墳見学、河口湖でのカヤック体験。どれもこれも、大都会新宿では経験できないことばかりでした。キャンプファイヤーでは、ソーラン節を踊る姿が格好良かったです。天気にも恵まれ、特に最終日に車内から見た河口湖に映る逆さ富士、5合目で見上げた富士山頂は圧巻でした。

今回の移動教室で学んだことをこれからも大切にして、卒業までの時間を楽しく過ごしてほしいです。

展覧会について

図画工作専科

今年のThe Art of Toyamaは図工作品の展覧会です。4月から少しずつ制作を進めてきており、いよいよ制作は佳境に入ってきております。

今年の展覧会のテーマである「色や形に思いをのせて 心の中の美術館」をもとに、それぞれの作品イメージを表すため色や形にこだわって制作に励んできました。

当日は体育館が芸術空間に大変身します。各学年設けられた展示テーマの世界観を子どもたちが演出しますので、ぜひ楽しみにしてください。